



Title	大阪大学低温センターだより No.102 裏表紙
Author(s)	
Citation	大阪大学低温センターだより. 102
Issue Date	1998-04
Text Version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/11094/22158
DOI	
rights	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/>

〈編集後記〉

低温センターだより102号をお届けします。

本号では、巻頭言と談話室に期せずして低温センターと利用者の関係、その今昔が載ることとなりました。二つは特に関連した内容ではないのですが、なにかを考えさせられた読者の方もいらっしゃるのではないのでしょうか。今、大学は大変な時期にあるといわれています。他人事ではなく、自身1大学関係者としてそう実感しています。色々あるかと思いますが、システムそのもの問題は必ず話題になり、最も難しい問題ではないのでしょうか。先輩の方々が苦労して作り上げ、発展させてきたシステムの中で現在の私たちは動いています。これまではそのシステムでうまくいっていた。色々問題があったとしても昔はよかった、しかしこれからはどうもそうではないようである。さて、低温センターだよりも既に100号を越えたいま、創刊当時の意図がどこにあったのかを知る人も少なくなったと思います（恥ずかしながら私もその1人ですが）。当時これを創ろうとしたときにあったであろう議論とその精神を想いながら、低温センターだよりも現在のニーズに合った衣替えが必要なときではないかと、編集委員の1人として思った次第であります。

(朝日 剛)

大阪大学低温センターだより 第102号

平成10年4月 発行

編集責任者 邑 瀬 和 生
発行者 大阪大学低温センター
吹田分室 大阪府吹田市山田丘2番1号
電話 (06) 879-7985
豊中分室 大阪府豊中市待兼山町1番1号
電話 (06) 850-6691

印刷所 阪東印刷紙器工業所
大阪市福島区玉川3丁目6番4号
電話 (06) 443-0936 (代表)

目 次

No. 102

巻頭言

低温研究40年	朝山 邦輔	1
---------------	-------------	---

研究ノート

極低温超高真空走査型プローブ顕微鏡の研究開発	工学研究科 菅原 康弘	2
------------------------------	-------------------	---

中性子散乱による蛋白質動力学的研究	理科研究科 片岡 幹雄	8
-------------------------	-------------------	---

Sm ₂ Fe ₁₇ N ₇ ボンド磁石 ー実用化をめざしてー	工学研究科 町田 憲一 足立 吟也	15
--	----------------------------	----

談話室

ヘリウム液面を測るのは誰?	低温センター 百瀬 英毅	23
---------------------	--------------------	----

平成9年度 寒剤供給状況		27
--------------------	--	----

表紙説明：走査型プローブ顕微鏡で用いている慣性駆動方式による移動機構。mmオーダーの移動距離をもちながら、Åオーダーの位置決め精度を有する。(本文p. 2参照)